

#大口町大好き フォトラリー

フォトスポットの写真を
撮りながら大口町歩きを
楽しもう!

フォトスポット
サンプルと
同じ写真を
撮影してね

参加費
無料

1期

はっけんしゃ
⑭ 八剣社
ほりおよしはるていあと
(堀尾吉晴邸跡)



八剣社一帯は戦国時代、堀尾吉晴をはじめとした堀尾氏家代の邸宅跡があったと伝えられています。現在は一角に石碑類が建っており、境内南側にある堀は、当時の居館があった名残であると考えられています。

3期

けいりんじ
⑬ 桂林寺
きんすけ はくようとう
(金助とその母供養塔)



大口町堀尾史蹟顕彰会により建てられた供養塔です。毎年晦日には供養祭が行われています。

4期

よのちゅうおうこうえん
⑥ 余野中央公園



公園の北西部に高さ8mの築山があり、頂上からの景色は絶景です。そこから延びるローラースライダーは延長40mと長く、迫力満点です。

4期

しんぶくじんじゃ
⑮ 神福神社



元はそれぞれ別の土地から遷してきた神明社と大福田社に分かれていました。大正6年(1917)に合祀し、神福神社と改めました。本堂のある土の高まりは古墳だと言われています。

3期

とくりんじ
④ 徳林寺



元々徳蓮寺としてありましたが、織田広近が出家し、徳林寺と名を改めて再興しました。この寺には古くから伝わる「山姥伝説」があります。

2期

⑫ マメナシの木
(天神社)



かつては濃尾平野に広く自生していましたが、現在では県内でも数カ所しか残っていない貴重な樹木です。開花時期は4月ごろ。花は白色で、実は1cmほどの小さな梨のような形をしています。

みょうとくじ ばんこうけん
③ 妙徳寺(万好軒)



小口城を築城した織田広近が、「万好軒」という隠居所(現在の妙徳寺)を建て、亡くなるまでここに住んでいました。

れきしみんぞくしりょうかん
⑩ 歴史民俗資料館



地元の芸術、習慣習俗、歴史や生活にスポットをあて、楽しくするための展示をしています。

2期

あらい せき
① 荒井の堰



用水路の開削にともない設置された木津用水幹線の樋門の一つです。新木津用水路、合瀬川用水路、五条川用水路を分水する起点。改良を重ね今の形となりました。

2期

はなみはし
⑨ 花見橋



町制 60周年の記念事業として建設されました。役場南ひろばに渡ることで、桜の時期は橋から美しい景色が見られます。

3期

ろくべはし せきむぐん
② 六部橋の石碑群



1868年の入鹿切れの大水により被害を受けた方の供養碑や、1954年に建立された五条川改修記念碑など、先人が遺された石碑が集まっています。

1期

いなり
⑧ おちよぼ稲荷
ふるさと みや
故里の宮



二ツ屋に住み着いていた「おちよぼ」という古狐を、大居士恵珍という山伏が住みよいところ(美濃)へ連れていったという伝説があり、このことから「おちよぼ稲荷故里の宮」と呼ばれているという伝説があります。

1期

おぐちしょうし
⑤ 小口城址



小口城は長禄 3(1459)年、織田広近によって築城されたと言われており、別名「箭筒城」とも呼ばれ、織田氏の尾張経営の中心的役割を担っていました。



どなたでも
参加
できます!

指定スポット

- 1期 ⑤小口城址 ⑧おちよぼ稲荷故里の宮 ⑭八剣社(堀尾吉晴邸跡)
- 2期 ①荒井の堰 ⑨花見橋 ⑫マメナシの木(天神社)
- 3期 ②六部橋の石碑群 ④徳林寺 ⑬桂林寺(金助とその母供養塔)
- 4期 ⑥余野中央公園 ⑪長松寺(汗かき地蔵) ⑮神福神社

ちようしょうじ あせ じせう
⑪ 長松寺(汗かき地蔵)



世の中に異変や災難がある時、必ず汗をかきと言われ伝説があります。正式な名前は「鑄鉄地藏菩薩立像」。愛知県の指定文化財です。※汗かき地蔵見学には予約が必要です。(0587) 95-2100 (長松寺)